

南会津地方農業・農村の動き（月例情報）

令和2年10月28日現在
南会津農林事務所農業振興普及部

1 主要農作物の生育・出荷状況

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈取り時期は平年よりやや早い。 刈取盛期（50％）：10月8日（平年10月12日） 刈取終期（95％）：10月22日（平年10月24日） ・斑点米カメムシ類が平年より多く、1等米比率は85.4％となっている。（R2.10.28暫定） （R元年産米1等米比率：81.2％ H30年産米1等米比率：85.5％ H29年産米1等米比率：74.7％） <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部ほ場で連作障害が発生、10月下旬に刈取適期、収穫開始予定。 <p>【そば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作柄判定ほ成熟期調査（10月1日） 主茎長：117.1cm（平年比 99.8％）、主茎節数：12.0節（平年比 108.1％） 分枝数：1.8本（平年比 81.8％）、倒伏：少
野菜	<p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月となり出荷期終盤となったが、9月の気温が高く出荷が前倒し傾向で進んでいたため、平年と比較し9月下旬以降の出荷量が落ち込んだものの、シーズンを通じての単収は直近3か年を上回っている（3か年対比：105％）。 病害虫は、特に灰色かび病、すすかび病、疫病の発生が多かった。（7/10～10/19の出荷状況）（前年比、直近3か年比の順に記載） ・出荷量（98％、105％）、金額（109％、103％）、単価（112％、97％） <p>【アスパラガス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平年並みの9月30日に出荷が終了したが、10月の気温が高く推移したため、一部ほ場で萌芽が継続している。前年と同様、10月上旬から中旬にかけてハウスの被覆除去し、一部の生産者で10月中旬より茎葉の刈取が開始した。 ・10/20現在（出荷量：前年比97％、金額：前年比93％、単価：前年比95％） ・病害虫 斑点病および褐斑病が多発している。露地栽培で茎枯病が前年に比べ増加している。
花き	<p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地区（10月9日現在） ・出荷量 1,162千本（前年比88％）9月咲品種 褐斑病が多発したため、廃棄が多く出荷量が減少した。 ・10月20日現在 出荷量 43CS 単価は80～140円と平年より高い傾向。全国的に出荷量が少なくなり高値傾向が続いている。 <p>・東部地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 10/1 出荷終了。昨年より5日程度早い。 10/20現在の出荷量（累計）609千本（前年比88％）、23,125千円（前年比85％） <p>【カスミソウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷ピークは終了。昨年より10日程度早い。

	10/20 現在の出荷量（累計）766千本（前年比107%）、66,859千円（前年比101%）
果 樹	<p>【リンゴ】</p> <p>○中生種の「ひめかみ」の果実肥大は、10月1日現在、縦径77.8mm横径83.0mmで推移している。</p> <p>○中生種の「ひめかみ」の収穫は10月8日に開始された。平年より9日遅い収穫日となった。</p> <p>○晩生種の「ふじ」の果実肥大は、10月15日現在、平年比で縦径96%横径99%と平年よりやや小さく推移している。</p>
畜 産	<p>【飼料作物】</p> <p>永年性牧草3番草の収穫は、9月下旬より始まり10月下旬で終了した。草地により生育にばらつきがあった。</p>

2 今月の緊急時モニタリングの実施状況

米17点、そば4点、大豆3点、園芸品目（野菜・園芸）を9点、原乳を1点検査し、全ての結果が「検出せず」となった。

3 管内の動き（トピックス）

--